

外国人学生のための日本語能力を示す検定試験

地域政策学部 中崎 温子

まず、4種類の国際試験の特徴を、簡単に紹介します。②のビジネス日本語能力テストについては、詳細を説明します。留学生一人ひとりが自らの目標値を設定し是非とも受験してほしいと考えています。

①日本語能力試験

TOEFL に次いで世界で 2 番目の受験数をかかえる試験です。留学生のみなさんには、最もなじみのある試験でしょう。7 月と 12 月に受験のチャンスがあり、大学生協で手続きを取ることができます。日本在住の能力としては、N1 を持っていて当たり前と判断されます。幅広い話題について書かれた新聞の論説や評論など論理的で抽象度の高い文章を読む力、及び、幅広い場面での自然なまとまりのある会話やニュース、講義を聴いて話の流れや論理構成の要点を把握できる力が試されます。まだ合格していない留学生は、必ず合格しておきましょう。

②BJT（ビジネス日本語能力テスト）

詳細は後述します。就職の際、①の日本語能力検定試験は合格していて当然とみなされます。なお、その上に付加価値をつけるのは、このビジネス日本語能力テストでの得点です。

③ J・TEST (実用日本語検定)

1991年からの歴史を持っています。実務的な高度の日本語力（中・上級の「A-D レベル試験」）または初級者向けの「E-F レベル試験」の2種があります。点数で測定されます。年6回受験でき、およそ年間7万人が受けています。

④ GNK（生活・職能日本語検定）

外務省を主務官庁とする「(財) 亜細亜友の会」が主催する国際試験です。生活や社会文化、

職能日本語力を測定します。マスター級、上級、準上級、中級、準中級、初級の資格認定（ジョブカード）を与えてくれます。

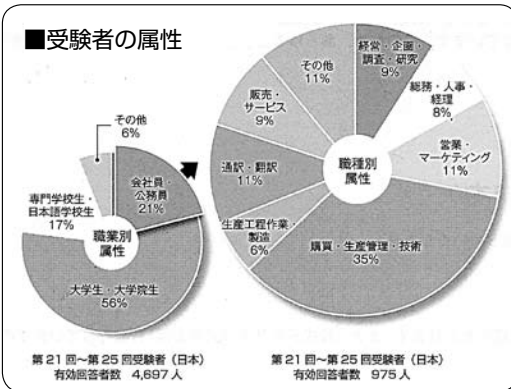
それぞれの検定は特色があり、いずれも、国内外で受験可能です。HPで内容の詳細を確認してください。

[illegible]

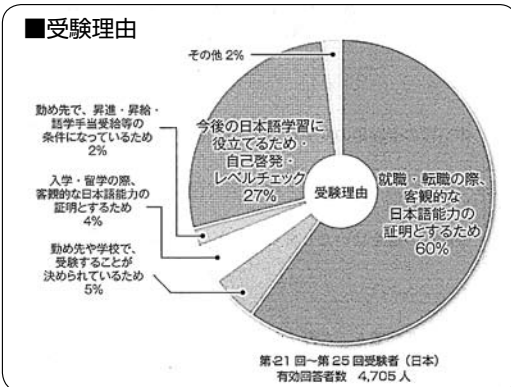
②の「ビジネス日本語能力テスト」は、留学生へのキャリア支援と絡めて8年前から本学で積極的に受験を奨励している試験です。毎年3キャンパスに渡って10名以上の受験生がおり、受験料10%控除の団体割引を受けています。県内でもトップクラスの得点を挙げた留学生も多数輩出してきました。豊橋ランゲージルーム(名古屋は図書館)にも対策用の教材がかなりあり、利用率も非常に高いようです。いわば受験のための学習環境が整備されて今日に至っているといえましょう。

試験の大きな特徴は二つです。「ビジネス現場で求められている実践的な日本語コミュニケーション能力を測定する」「スコア制で客観的な能力評価が可能。教育・人事評価に使いやすい」というものです。日本語シャワーを浴び日本人と共にアルバイト経験がある日本での受験者のスコアが、海外での受験組のスコアを引き離している理由もここにあります。みなさんは、今頃培っている実践的な力があります。名古屋市内で受験可能という恵まれたチャンスを生かして、積極的に受験をしてほしいと考えています。①とは違うタイプの試験ですし、N1が合格してからという消極的なことではなく、数回の受験によって徐々にスコアを高めていってください。体験することによって受験テクニックを磨くこともできます。就職のための高い壁を乗り越えるための必須アイテムと考えます。

■受験者の属性



■受験理由



以前は、外国人ビジネスマンの受験生が圧倒的でした。しかし、ここ数年、就職氷河期が言われだして一層、キャリアを求めて大学での留学生の受験数が飛躍的に伸びています（上のグラフ）。まずは、「9割が日本人の職場でも円滑に業務を遂行できる」といわれる「J2」を目指してみてください。

検定試験体験記

経営学部4年 紀 薇薇

私は中国から留学しに来てもう5年目となる。日本語に関しての検定試験は3回経験がある。日本語検定試験1, 2級を合格し、大学三年生の時に、就職活動に役にたとうと思って、ビジネス日本語（BJT）という試験を受けて、J1というランキングに入った。

まず、日本語検定試験から言うと、それは大学に入ってから、忙しい日々が続いている中では、日本語の勉強時間は日本語学校より短くなると思う。なので、私はおすすめ勉強方法は、もちろん、日々の日本語の勉強は大事であるが、試験の半年前に集中的に文法や単語を勉強したほうが良いと思う。2級の文法は普段よく使うものなので、覚えやすくて、生活にも役に立つと思う。しかし、1級の文法は正式なもので、よく論文や書類に使うものなので、固い日本語だと気がするかもしれないが、覚えにくいと思う。そして、自分が覚えたと思っても、何週間たってから、また忘れてしまうので、常に復習しないといけない。単語の方では、私は本屋さんで2級と1級の単語の本を買っていたが、毎日20個ぐらいを覚えることが計画したのが、実際やってみると、20個では予想よりは大変ではなかった。意外に順調に続けていた。後は聴解の方は、私は特に勉強をしていなかった。なぜなら、普段の生活をしていると、バイトでも、学校でもよく回りの日本人の友達とおしゃべりするから、それは聴解の練習だと思って、あまり本で勉強はしなかったからだ。

次に、ビジネス日本語試験から言うと、それは名前から見ると、もうわかるように、ビジネス場面でよく使う日本語の試験である。この日本語は私たち普段に使う言葉とは違って、敬語は高く要求されている。日本語流暢に話せても、敬語は完璧話せるという自信がある人はほとんどいないと思う。なので、この試験に対しては、CDを聞きながら、間違えるところは暗証することをおすすめしている。

日本語の検定試験は私たちの日本語力をどのくらいのレベルに達成しているのかを示してくれるので、とにかく色々な試験に挑戦しましょう。